

安曇野市長 宮澤 宗弘 様

安曇野市議会議長 濱 昭次

「情報伝達手段の考え方と緊急告知機能付き防災ラジオの各戸配布」

に関する要望書

市民への災害・防災に関する情報伝達の方法については、従来から市議会としても、一般質問や代表質問で市長の考えを質し、あるいは提言をし、また、従来の総務委員会、現在の総務環境委員会においても、所管事務として調査研究する中、先進地の視察を行い、喫緊の問題として議論を重ねてきました。

また、今年 5 月 16 日開催の「議会報告会」においても、多くの市民の皆さんから発言が集中した、屋外同報系防災無線（拡声器）の室内にいる時の聞き難さと、今年 3 月末をもって終了した、アナログ戸別受信機の完全廃止は、特に高齢者世帯の皆さんには、情報を得るための最も身近な手段が奪われたと言う認識が生じており、このことは、昨年来の「市長と語る会」でも市民から同様の認識が示されてきました。

その要因は、全国各地で発生している激甚災害であり、特に今回の静岡・糸魚川構造線上の安曇野市における M7.6 規模の地震発生率が、10.4 ポイント上昇し、29.5%と報じられたことも非常に影響しています。

安全・安心のまちづくりに取り組む安曇野市にとって、住民の生命を第一に守るための均一的な情報伝達手段を速やかに構築する必要が急務です。

そこで、安曇野市議会は全議員の一致の下、速やかに、行政の広報を含む情報伝達手段に対する考え方を明確にし、課題が存在するのであれば、その解決に真摯に取り組み、一刻も早く、緊急告知機能付き防災ラジオの各戸配布を市民の負担の少ない方法で実現するよう要望します。